

令和3年5月7日

令和2年度有機フッ素化合物環境中実態調査結果（冬季）について

概要

- 平成29年度から主に米軍基地周辺でPFOS, PFOA等の有機フッ素化合物の調査を毎年、夏季、冬季の2回行っている。
- 令和2年度冬季は59地点で調査を行った。（資料1）
- 各米軍基地周辺の調査地点数と、令和2年5月に環境省が定めたPFOS及びPFOAの暫定指針値（50ng/L）を超過した地点数は以下のとおり。
- 全調査地点中の最大濃度は嘉手納町の民家地下水の2800ng/Lであった。

地域	暫定指針値超過地点 / 調査地点	合計
普天間飛行場周辺	12 / 21	34 / 59
キャンプ瑞慶覧周辺	1 / 3	
嘉手納飛行場周辺	15 / 16	
キャンプマクトリアス周辺	4 / 10	
キャンプハンセン周辺	2 / 6	
キャンプシュワブ周辺	0 / 3	

各地点の詳細結果は資料2のとおり。

今後の予定等

- 令和3年度の夏季調査を実施予定
- 嘉手納飛行場、普天間飛行場周辺の超過については、基地からの影響である蓋然性が高いと考えており、国に調査及び対策を求めている。
- その他の超過地点については、環境省が作成した手引きに基づき、飲用に供しないよう、関係市町村及び地元自治会を通じて周知していく。